

利賀っ子だより



R3. 11. 12

○ 心に残る活動

～ 音楽鑑賞会 ～

11日に市内のフォークデュオ「N&K」のお2人にお越しいただき、「利賀小学校 午後のコンサート」を行いました。

「ふるさとの空」「野に咲く花のように」「竹田の子守唄」「この街で」「さよならの夏」の5曲を披露していただきました。子供たちは、優しい歌声や美しいギターの音色に耳を傾け、体を揺らしながら聴いたり、演奏の様子を食い入るように見たりしていました。しっかり聞き取り、豊かに感じ取っていることがうかがえました。

「ふるさとの空」は、5月に「今月の歌」として、全校で毎朝歌っていましたが、「(自分たちが歌っていたのとは)全然違う曲に聴こえた。」「聴いているうちに景色が浮かんできた。」などの感想を話していました。また、「さよならの夏」は、この日の初演で練習をたくさんしてきたということを知り、「N&K」のお2人の思いに感謝の気持ちをもった子供もいました。

演奏される方の息づかいや熱意を間近で感じながら聴く機会は、CDやDVDを使っただけの音楽科での鑑賞曲の学習の何倍も子供の心に響くものがあったようです。



「N&K」のお2人の演奏の様子

～ 歯科保健教室 ～



低学年での指導の様子

保健センターの歯科衛生士さんから1・2年生は、歯みがきの大切さについての指導、5・6年生は歯肉炎の原因や予防法、歯みがきの方法についての指導を受けました。

模型や分かりやすい資料を使った歯科衛生士さんのおかげで、子供たちは、歯に関する知識を得ただけでなく、日頃の自分の歯みがきを振り返り、今後の目当てを具体的にもつことができました。

本物に触れること、専門性の高い方からの指導等、子供たちの成長には、教室で先生や仲間と学習すること以外にも必要なことがたくさんあると感じるとともに子供たちのため時間を割いてお越しくださる方々のお気持ちに答えるよう、この機会をいかして指導していく責任を感じました。

(高田 公美)